

旭川市博物科学館報

Vol. 5

平成24(2012)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 旭川市科学館「サイパル」の考え方	2
2 旭川市科学館「サイパル」の概要	2
3 旭川市科学館の沿革	2
4 施設の概要	2～4
II 旭川市博物館の概要	
1 建設の目的と性格	5
2 展示基本理念	5
3 旭川市博物館の沿革	5
4 施設の概要	5～6
III 平成23年度事業活動報告（旭川市科学館）	
1 利用状況	7
2 常設展示事業	8
3 特別展示事業	9～10
4 実験実習事業	11～15
5 天文普及事業	15～19
6 学校連携事業	20
7 共催事業	21
8 その他科学館で開催された主な催事など	21
9 情報提供活動	22
10 広報活動	22
IV 平成23年度事業活動報告（旭川市博物館）	
1 利用状況	23
2 常設展示事業	24
3 企画展示・特別展示事業	24
4 教育普及活動事業	25～29
5 刊行物一覧	30
6 博物館実習	30
7 収蔵資料関係	31
8 資料調査・撮影・掲載等	31～32
9 貸出資料	32
10 博物館ボランティア	32
V サイエンスボランティア旭川の活動	
1 概 要	33
2 平成23年度従事者数	33
3 活動の内容	33～34
VI 旭川市科学館・旭川市博物館利用案内	
1 観覧料	35
2 旭川市科学館	36
3 旭川市博物館	37

運営組織及び職員数（平成24年4月1日現在）

館長	博物科学館協議会	(任期：平成22年9月1日～平成24年8月31日)
(1名)	(20名)	
主幹	博物館施設管理・事業統括・考古学担当	
(1名)		
副館長	科学館施設設備管理担当	
(1名)		
主査	天文・電子工作・地学（地質）・プラネタリウム・生物・近現代史・科学館 常設展示・運営管理担当	
(6名)		
主任	プラネタリウム・近現代史・民族学・電子工作・理科実験・庶務担当	
(6名)		
係員	理科実験・地学・庶務担当	
(2名)		
嘱託職員	考古学・民族学・レファレンスルーム運営管理・理科実験指導・パソコン教 室・木工模型工作指導・天文観測指導・プラネタリウム解説・団体受付	
(13名)		
臨時職員	事務補助・団体観覧受付	
(5名)		

博物科学館職員 計35名

(博物館常駐職員 10名，科学館常駐職員 25名)

I 旭川市科学館の概要

1 旭川市科学館「サイバル」の考え方

旭川市科学館「サイバル」は、子ども達をはじめ多様な方々に、様々な科学に関する情報を伝え、関心を高め、科学への理解を深めることを目的としています。

これまで、旭川市青少年科学館では物理・化学・天文などの分野を主な事業活動の対象としてきましたが、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取り組みが求められている今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要です。

このため、旭川市科学館では、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象として、多彩な活動を進めていきます。

2 旭川市科学館「サイバル」の概要

サイバルの位置する宮前通東「北彩都あさひかわ」シビックコア地区には、科学館に隣接して旭川市障害者福祉センター「おびった」、国の合同庁舎が建っています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間も設けられています。神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で、自然科学を学ぶことができるのも大きな特徴です。

また、多くの方々にご利用いただく常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子どもから高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れました。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館に生まれ変わりました。科学の不思議さを表現したシンボル展示、「国際家具デザインフェア旭川」コンペティション入選作品など美しい地場木製家具を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しました。

3 旭川市科学館の沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため旭川市青少年科学館閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイバル」が現在地に開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成

4 施設の概要

(1) 旭川市科学館

・所在地	旭川市宮前通東「北彩都あさひかわ」シビックコア地区
・敷地面積	27,099.65㎡
・延床面積	5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
〔内訳〕	
○常設・特別展示室、サイエンスシアター	約1,780㎡
○プラネタリウム	約375㎡
○天文台	約90㎡
○実験実習室ほか	約655㎡
○共用・管理運営関係	約2,900㎡

- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

(2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習室・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	情報コーナー	バーチャル科学館案内，科学クイズ，サイエンスライブラリー等の機能
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
3階	機械室など	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円形広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

(3) 常設展示室詳細

Ⅲ 平成23年度事業活動報告 2 常設展示事業を参照

(4) 天文台詳細

- ・位置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・面積：173㎡（うち大天文台50㎡，小天文台19㎡，観測デッキ82㎡）
- ・大天文台：ドーム直径8m，口径65cm カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡2基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・小天文台：ドーム直径5m，口径20cm 屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置，太陽投影板・太陽用H α フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

(5) プラネタリウム詳細

- ・面積 : 670㎡(客室232㎡, プロジェクションギャラリー112㎡, ロビー228㎡, その他98㎡)
- ・ドーム : 直径18m, 水平型・平面床, 170席 (うち2人掛け椅子5脚, 通常時同心円配列・映像投影一部回転式)
- ・投影機 : カール・ツァイス社製ZMPスターマスター (コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式), スカイスキャン社製全天周ドーム映像装置など付設
- ・特徴 : 生解説によるマニュアル投影, わが国初のデジタル操作式カール・ツァイス社製投影機の導入, 全国で初めて回転可動式座席を導入。

・各室の内訳

室名	面積(m ²)	利用内容
常設展示室 (1階) (地下階)	1,548.8 (666.5) (882.3)	旭川を中心とした歴史・文化及び自然に関して自然部門と人文部門で常設展示を展開。平成20年11月に1階部分をアイヌ文化の紹介を中心にした展示にリニューアル。
特別展示室	332.8	常設展示を補完するため、また市民のニーズに対応して、そのつど特定のテーマの特別(企画)展示を展開。
学芸室1(自然系)	91.4	分析試料の作製、資料分類整理、資料登録等を行う。
学芸室2(人文系)	139.5	各種資料の分類整理・登録、修理、分析、製作を行う。
第1収蔵庫	433.0	木製品、金属製品等の近現代資料を保管。
第2収蔵庫	249.6	土器、石器、岩石・鉱物、剥製、昆虫、植物標本を保管。
第3収蔵庫	156.0	美術品、漆製品、皮革、繊維製品を保管。
荷解室	107.0	資料搬入と荷解きを行う。
燻蒸室	28.0	搬入された資料の永久保存を図るため、燻蒸によって殺菌・殺虫を行う。
洗浄室	56.0	搬入された資料を洗浄するための水洗場を備える。
文献資料室	78.0	博物館活動に必要な図書文献を収納し、市民の希望のあるときは閲覧に提供。
郷土学習室	127.5	講演、講座を開催するほか、ガス・水道を整備して子ども体験学習を実施。
ゆきんぼコーナー	84.0	昭和30年代当時の道具や遊びを通して、暮らしを学ぶことができる。
その他	637.9	慣らし室、廊下、階段、印刷室、更衣室、準備室等
計	4,069.5	

(2) 附属施設

茶室「晴雪(せいせつ)」 ・構造 木造平屋建 ・面積 22.87m²

この茶室は、昭和25年に本市で開かれた「北海道開発大博覧会」の折、当時5条通11丁目にあった市立図書館の附属茶室として岡田英斎の手により建設され、その後常磐公園内に移され、昭和43年当館附属茶室になった。博物館の移転に伴い大雪クリスタルホール敷地内に移設された。

(3) アイヌ文化の森「伝承のコタン」<分館>

- ・所在地 上川郡鷹栖町字近文9線西4号(嵐山公園センター内)
- ・沿革 昭和44(1969)年 アイヌ文化の保存と伝承を目的とし造成に着手
昭和47(1972)年9月10日 旭川市立旭川郷土博物館分館として開園
平成18(2006)年4月1日 嵐山公園センター内に移転

<施設の概要>

- ・展示室・案内事務室等(嵐山公園センター、木造平屋建 476.5m²)
展示は旭川のアイヌの人々の植物利用を紹介
- ・ポロチセ1棟(木造、ササ葺き・ササ壁 84.24m²)
- ・ポンチセ2棟(木造、ササ葺き・ササ壁 31.23m², 34.03m²)
- ・その他の施設 プー(チセの附属施設で「食糧庫」を意味する)
ヌササン(「祭壇」の意味でイナㇿ(木幣)を立てるところ)

Ⅲ 平成23年度事業活動報告（旭川市科学館）

1 利用状況

内訳 月	常設 展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者		その他	合計	平成22年度
					(うち特別展分)			
4	9,671	4,975	1,764	3,807	————	39	20,256	20,575
5	17,984	8,381	2,312	6,306	————	90	35,073	24,732
6	9,343	5,346	1,075	3,470	————	2,506	21,740	22,137
7	16,730	8,174	1,819	8,570	(6,199)	64	35,357	42,580
8	26,662	12,862	3,388	15,980	(13,526)	26	58,918	63,830
9	12,403	6,440	1,299	6,030	(1,860)	170	26,342	28,475
10	9,551	5,144	966	3,089	————	1,139	19,889	21,723
11	8,081	4,307	954	4,889	————	296	18,527	20,120
12	3,476	2,018	201	1,648	————	318	7,661	8,474
1	6,560	3,311	713	15,043	————	65	25,692	21,797
2	3,626	1,929	313	1,391	————	1,406	8,665	8,829
3	7,181	3,724	772	2,146	————	112	13,935	15,768
合計	131,268	66,611	15,576	72,369	(21,585)	6,231	292,055	299,040

※平成23年度の1日平均入館者数：909.8人／日（開館日：321日）

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成13年度～平成22年度：延人数）

※平成16年度までは旭川市青少年科学館での実績

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備 考
H13	52,062	18,669	1,395	44,165	116,291	平成16年度まで観覧料無料
H14	49,879	18,523	1,891	45,963	116,256	
H15	51,841	17,958	2,317	31,179	103,295	
H16	36,180	16,485	1,433	19,193	73,291	1月30日で旧館閉館
H17	220,713	107,732	70,108	40,925	439,478	7月23日より新館開館
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,523	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	60,276	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6月～9月原則無休開館

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



旭川市科学館外観



常設展示室

2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型，キッズコーナー，科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー		展 示 名	
北国		北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球		身体ズームイン／内蔵パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風を起こそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシーン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影であそぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディータック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう／人類の進化／こども環境新聞／燃料電池／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙		ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国	雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球	巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙	宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国	石狩川夢の旅人
		地球	謎の深海底
		宇宙	テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成23年4月～平成24年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体 (団体料金適用者)					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	4,117	54	4,599	250	9,020	0	380	44	227	651	9,671
5	7,119	89	6,720	418	14,346	105	443	2,486	604	3,638	17,984
6	2,259	33	2,252	178	4,722	72	303	3,592	654	4,621	9,343
7	5,714	60	6,575	494	12,843	101	0	2,937	849	3,887	16,730
8	10,845	174	11,793	940	23,752	48	263	1,719	880	2,910	26,662
9	4,376	26	4,044	341	8,787	217	65	2,414	920	3,616	12,403
10	3,472	33	3,687	291	7,483	130	60	1,148	730	2,068	9,551
11	3,364	29	3,290	183	6,866	64	286	412	453	1,215	8,081
12	1,405	33	1,487	114	3,039	0	0	343	94	437	3,476
1	2,871	19	3,211	217	6,318	0	20	131	91	242	6,560
2	1,661	22	1,362	141	3,186	0	192	118	130	440	3,626
3	3,160	36	3,230	271	6,697	2	0	208	274	484	7,181
年度合計	50,363	608	52,250	3,838	107,059	739	2,012	15,552	5,906	24,209	131,268

※「その他」は観覧免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

3 特別展示事業

(1)特別展「ロボワールド-ROBO WORLD-」 ※博物館と合同で開催

ア 展示

実施期間	平成23年7月16日～9月4日（開催期間51日間）
観覧者数	24,939人(2館共通券実売数, 科学館会場観覧者延べ21,585人, 博物館会場観覧者延べ7,733人)
内 容	科学館会場ではロボットの技術や開発の過程などを動態や静態, パネルを通じて紹介。博物館会場では日本のロボット開発の原点とも言われるからくり人形や, ロボット技術者の夢を育む原動力ともなった漫画やアニメの関連グッズや玩具などの展示を行った。また, 期間中の土日祝には最先端ロボットによるデモンストレーションを始めとした, ロボット操縦体験, からくり実演講座, 工作教室などの関連事業も実施した。

イ 関連事業

・セレモニー

内 容	会場	参加者数	開催日
オープニングセレモニー	特別展示室前	26人	7月16日
入場者1万人達成セレモニー	特別展示室前	未集計	8月9日
入場者2万人達成セレモニー	特別展示室前	未集計	8月28日

・メタリックワークショップ

内 容	対 象	参加者数	開催日
低融点合金を使った飾り作り	どなたでも	522人	8月20日 8月21日 8月27日 8月28日

・ロボットデモンストレーション

内 容	対 象	参加者数	開催日
新型ASIMOやムラタセイサク君®など最先端ロボットによるデモンストレーション	どなたでも	6,359人	特別展期間中の毎週土・日（計14回）

・ロボットミニパフォーマンス&ふれあい体験

内 容	対 象	参加者数	開催日
MANOI-PF01やARDroneによるミニパフォーマンス	どなたでも	5,916人	特別展開催期間中の平日（計39回実施）

・旭川高専ロボコン講演会&操作体験

内 容	対 象	参加者数	開催日
旭川工業高等専門学校ロボットラボラトリ部による「ロボコン」のお話とロボット操作体験など	学習研修室	89人	7月18日

・ロボットクイズラリー

内 容	対 象	参加者数	開催日
期間中2会場をまわってロボットクイズに答える。参加者には記念品を配布。	小中学生	5,618人	特別展期間中

・ロボワールドぬりえ展

内 容	対 象	参加者数	開催日
ロボットのぬりえを募集し、科学館及び博物館で展示	小学生低学年以下	200点	特別展期間中

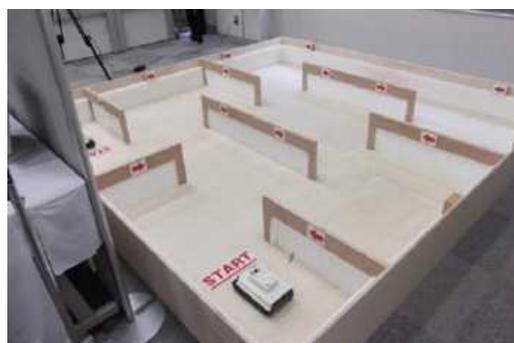
(2)ミニ企画展「外来生物2011」展

ア 展示

実施期間	平成23年11月12日～12月11日
参加者数	5,834人（常設展示室観覧者数に含む）
内 容	旭山動物園で開催された外来生物展のパネルを中心に、旭川周辺で見られる外来生物をアズマヒキガエルなどの生体標本を交えて紹介し、その現状と問題について展示した。協力：旭山動物園



ロボワールド-ROBO WORLD-(科学館)



ロボワールド-ROBO WORLD-(科学館)



ロボワールド-ROBO WORLD-(博物館)



ロボワールド-ROBO WORLD-(博物館)

4 実験実習事業（主な事業のみ掲載）

(1) 体験教室・講座

ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法	小学3年～ 中学生の親子	10組	62人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4～ 5年生	20人	160人	5月～8月 又は9月 (各10回)
	理科(日)			20人	152人	
	科学工作(木)	持ち運び型LED照明の製作 ほか		16人	145人	
	科学工作(土)			16人	147人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	130人	
実験工作	理科実験と木工・電子工作	小学6年～ 中学生		20人	168人	
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法	小学3年～ 中学生の親子	10組	68人	11月～翌年 3月(5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4～ 5年生	20人	83人	11月～翌年 2月又は3 月(各10回)
	理科(日)			20人	157人	
	科学工作(木)	小物入れ付ラジオの製作		16人	144人	
	科学工作(土)			16人	146人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	136人	
	実験工作	理科実験と木工・電子工作		小学6年～ 中学生	20人	
生き物・地球	生き物や岩石の観察など	中学生		16人	107人	

イ 親と子の実験室（前・期）

	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (全6回)	小学2・3年生の 親子	40組	434人	5月～9月
後			40組	418人	11月～翌年2月

ウ 旭川少年少女発明クラブ

内 容	対 象	登録数	延人数	開催日
アイデア工作, 基礎工作, 科学 の夢絵画の制作など	小学3年～ 中学生	14人	243人	5月～翌年 3月(21回)



科学館クラブ
(パソコン)



サイエンスセミナー
渡部潤一顧問講演会

エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	「東日本大震災の教訓から、自然災害の基礎知識と防災について学ぶ」 講師：岡田 弘名誉館長(北海道大学名誉教授)	15人	9月18日
2	岡田名誉館長と行くサイエンスツアー～十勝岳の火山地形、 防災施設を通し、防災についての学習。	35人	9月19日
3	「徳川将軍夫人の遺骨～大奥の実態を探る」 講師：馬場 悠男顧問(国立科学博物館名誉研究員)	22人	10月16日
4	「新しい命の誕生～性の決定から受精まで～」 講師：森澤 正昭顧問(東京大学名誉教授)	14人	11月6日
5	第20回先端科学移動大学「睡眠のなぞ」他4講座	149人	11月12日
6	『2012年 天文現象「金」の年』 講師：渡部 潤一顧問(国立天文台天文情報センター長)	67人	11月20日

オ パソコン基礎講座

回	内 容	対 象	定 員	延人数	開催日
1	楽しくパソコン～パソコンの使	高齢者	10人	88人	6月～8月
2	い方を習得し、生活に利用しよ		10人	96人	9月～11月
3	う。(全10回)		10人	91人	1月～3月

(2)ものづくり教室

ア 市民木工教室

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	動物のブックエンドの製作	大人	33人	6月8日～10日
2	木の三輪車の製作		24人	9月3日, 4日
3	木製コースターと鍋敷きの製作		27人	11月9日～11日
4	木の三輪車の製作		20人	3月3日, 4日
	ガーデニング用花台の製作		10人	3月3日

イ 夏休み・冬休み自由工房

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	とんとん教室	小学4年～中学生	16人	7月30日
2	夏のわくわく実験&工作	小学4年～6年生	16人	8月4日
3	パソコンを活用しよう	小学4年～中学生	4人	8月5日
4	かんたん電子工作		10人	8月8日
5	かんたん電子工作		9人	12月25日
6	とんとん教室		16人	1月5日
7	パソコンを活用しよう		12人	1月6日
8	冬のわくわく実験&工作	小学4年～6年生	16人	1月12日

ウ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	ばこカーの製作	小学4年～中学生	3人	5月5日
2	電子サイコロの製作		9人	7月18日
3	電子ごまの製作		10人	8月2日
4	2バンドラジオの製作		9人	8月14日
5	電子チャイムの製作		7人	12月18日
6	LED電飾の製作		7人	12月23日
7	光センサー・カーの製作		10人	1月9日

エ ロボット工房

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	光センサーロボットの製作	小学4年～中学生	9人	7月28日
2			9人	7月30日
3	ドーム型ロボットの製作		5人	8月4日
4			8人	8月6日
5	カニのおもちゃの製作		8人	8月11日
6			2人	8月13日

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	8人	5月22日
2			18人	2月19日
1	子連れお散歩自然観察会	未就園児童と保護者	17人	6月30日
2			15人	9月15日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	昆虫標本をつくろう	小学4年～中学生	4人	8月6日, 7日
2	ファミリー観察会	小学生と保護者	9人	8月12日



大人のための自然観察会



子連れお散歩自然観察会

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象とした実験工作教室や実験ショーを開催。

・サイエンスショー

内 容	対 象	参加者数	開催日
音の実験など12テーマ（全51回）	どなたでも	4,795人	毎週土曜日

イ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催。	どなたでも	2,337人	4月29日
秋			2,182人	11月3日

ウ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
化石発掘体験，風の実験ショーほか（全20回）	どなたでも	4,645人	主に祝日，お盆期間など

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生188人，中学生47人）	235人	8月23日 ～9月23日 （募集期間）
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川旭川創意工夫教育研究会，旭川発明協会との共催）	59人	9月24日 ～9月30日 （募集期間）
合同展示会・表彰式（表彰式は11日のみ）	1,700人	10月7日～11日

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生8人，中学生0人），絵画（小学生87人，中学生22人）	117人	5月1日～ 7月31日

ウ 科学技術週間行事

内 容	対 象	参加者数	開催日
発明工作教室『ソーラーペガサスの製作』	小学4年生以上	4人	4月24日
科学技術映像祭入選作品上映会 「HAYABUSA（BACK TO THE EARTH）～帰還バージョン～」	どなたでも	807人	4月29日～ 5月5日



春の科学館まつり



春休みプチ実験工作室

5 天文普及事業

(1) 天文台事業

ア 天文台公開

期 間 等	平成23年 4 月～平成24年 3 月 (320日間開放)
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内 容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径 8 メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径 5 メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前 9 時30分～午後 5 時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ 天体を見る会

期 間 等	平成23年 4 月～平成24年 3 月 (計19回実施)
参加者数	計746人
内 容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	5 月～9 月：19:30～20:30、10 月～4 月：17:30～20:00 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

ウ 星の教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する (全 6 回)	どなたでも	53人	奇数月の主に最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	望遠鏡の使い方と夜間天体観測	小中学生と保護者	15人	6 月11日
2			20人	9 月10日

オ 夏・冬休み天文教室

	内 容	対 象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡作りとプラネタリウム学習	小学4年～中学生	17人	8月4日
冬			10人	12月27日

カ 移動観測会

内 容	場 所	参加者数	開催日
キャンドルナイト観測会	旭川市市民活動センター「CoCoDe」	125人	6月21日
PTA親子行事観測会	春光小学校	122人	7月22日

キ 天体観測

内 容	回数	期 間
太陽黒点の観測	189回	4月～3月



親子天文博士



天体を見る会

(2) プラネタリウム事業

天文知識の啓蒙・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎ プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個人					団体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	2,301	27	2,161	150	4,639	0	145	37	154	336	4,975
5	3,363	46	2,768	254	6,431	28	164	1,310	448	1,950	8,381
6	1,239	25	872	128	2,264	28	223	2,471	360	3,082	5,346
7	2,959	44	2,798	268	6,069	71	0	1,562	472	2,105	8,174
8	5,206	84	5,007	480	10,777	8	263	1,218	596	2,085	12,862
9	2,316	11	1,836	206	4,369	78	65	1,480	448	2,071	6,440
10	2,024	24	1,689	192	3,929	51	60	853	251	1,215	5,144
11	1,894	30	1,433	116	3,473	42	143	381	268	834	4,307
12	904	34	641	76	1,655	0	0	289	74	363	2,018
1	1,583	12	1,244	193	3,032	0	20	176	83	279	3,311
2	1,025	20	552	84	1,681	0	40	142	66	248	1,929
3	1,724	26	1,471	174	3,395	2	0	177	150	329	3,724
年度計	26,538	383	22,472	2,321	51,714	308	1,123	10,096	3,370	14,897	66,611

※「その他」は観覧免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

◎ プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	17	44	55	77	59	58	42	33	16	12	6	15	434

ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
THE SUN	(3月)～4月	太陽・太陽系	87回
宇宙を探る	5月～6月	人工衛星、惑星探査機、宇宙ステーション	180回
星空めぐり	7月～8月	緯度変換	179回
赤い月	9月～10月	皆既月食	161回
クリスマスの夜に…	11月～12月	クリスマス	123回
スターダスト	1月～2月	超新星爆発・星間物質	118回
夜空の動物園	3月～(4月)	動物星座	68回
番組数	7番組	投影回数合計	916回

※（ ）内の月は別年度のため、投影回数には含まない

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	6	2,181人	87回
5	20	3,774人	90回
6	19	1,912人	90回
7	26	3,070人	85回
8	19	5,539人	94回
9	24	2,987人	84回
10	13	2,092人	77回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	11	2,102人	60回
12	4	930人	63回
1	5	1,733人	62回
2	0	876人	56回
3	6	1,786人	68回
合計	153	28,982人	916回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む

イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽（太陽の1日の動きと影の出来方）	30分	4回
小学4年生	月と季節の星座（月の形と動き、星の数）	40分	20回
小学6年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40分	7回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50分	4回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）	40～50分	4回

(学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）						団体数					
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	12	16	0	28	0	0	1	1	0	2
6	37	177	26	0	22	262	1	4	1	0	1	7
7	6	62	33	21	17	139	1	1	1	1	1	5
8	0	134	103	128	0	365	0	3	1	1	0	5
9	13	544	36	15	0	608	1	12	1	1	0	15
10	57	190	21	0	15	283	1	3	1	0	1	6
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	42	42	0	0	0	0	1	1
3	0	0	68	0	0	68	0	0	1	0	0	1
合計	113	1,107	299	180	96	1,795	4	23	7	4	4	42

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む

○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を独自に製作・投影している。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
春はすぐそこ	4月1日～4月6日	冬から春の星座紹介, イソップ童話「北風と太陽」
アポロンとからす	4月7日～6月30日	春の星座紹介, からす座の物語
たなばたさま	7月1日～8月7日	夏の星座紹介, 七夕伝説
月をつかまえた子ども	8月8日～10月30日	秋の星座紹介, 月の形, 月の物語
クリスマスの空	11月1日～12月25日	冬の星座紹介, クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12月27日～2月29日	冬の星座紹介, エリダヌス座の物語
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座のお話

(幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	5	1,657人	21回
5	2	2,363人	24回
6	13	1,291人	24回
7	35	3,457人	44回
8	22	4,431人	47回
9	10	1,716人	27回
10	15	1,646人	27回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	13	1,196人	25回
12	8	519人	24回
1	5	753人	21回
2	5	624人	32回
3	3	769人	26回
合計	136	20,422人	342回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影日
夏の星空CDコンサート	大航海時代をテーマに星空と音楽を楽しむCDコンサート	128人	7月9日
秋の星空コンサート	凌雲高校吹奏楽局の生演奏とともに秋の星空を楽しむコンサート	128人	10月8日
クリスマスCDコンサート	冬の星座とクリスマスの音楽を楽しむCDコンサート	151人	12月17日
バレンタインコンサート	女性ボーカルと生演奏とともに季節の星座を楽しむコンサート	135人	2月11日

○ドームシアター 実施期間：通年

全天周映像装置を利用し、NASA監修・アメリカ自然史博物館製作のデジタル映像番組「宇宙大衝突 (COSMIC COLLISIONS)」の上映を行う。

(番組利用状況)

投影回数：334回

番組タイトル	内 容	観覧者数	団体数
宇宙大衝突 (COSMIC COLLISIONS)	全天周デジタル映像, オート番組 宇宙で起きている星々の大衝突の謎に迫る	14,351人	99

6 学校連携事業

(1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	56団体（利用者数：1,876人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「スライムを作ろう」、「光スタンプを作ろう」など 電子工作・・・「電子テスターの製作」など 木工・・・「糸のこの木工」など その他・・・低温実験室体験、雪と氷の観察など

(2) 巡回実験教室事業

ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教室などを行う。

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	9団体（利用者数：533人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「スライムを作ろう」など 電子工作・・・「シンプルモーターを作ろう」など その他・・・石をみがこう

イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立愛宕小学校 6 学年（プラネタリウム観覧者数に含む）	97人	8 月 25 日
旭川市立神居東小学校 4 学年（プラネタリウム観覧者数に含む）	78人	9 月 5 日
旭川市立緑新小学校 4 学年（プラネタリウム観覧者数に含む）	56人	11 月 8 日

ウ 総合学習関連事業

小学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
旭川市立向陵小学校	総合学習の時間に出前授業を実施	19人	1 月 24 日

(3) 人材育成事業

ア 博物館実習の受入れ

IV 平成23年度事業活動報告(旭川市博物館) 6 博物館実習を参照

イ 天文研修会

内 容	対 象	参加者数	開催日
プラネタリウム見学と望遠鏡の操作実習	市内小中学校教員	5 人	7 月 28 日

7 共催事業

(1)みどりの回廊展(共催：あさひかわ自然共生ネットワーク)

内 容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	1,008人	6月18日～19日

(2)動物学ひろば(共催：日本動物学会)

内 容	参加者数	開催日
日本動物学会第82回旭川大会の関連事業として, 一般市民向けに実験動物を紹介する展示。	903人	9月23日

(3)親子ミニマイコンカー教室(共催：旭川工業高等学校)

内 容	参加者数	開催日
親子でミニマイコンカー製作と競技会	35人	10月15日～16日

(4)お天気ひろば(共催：旭川地方气象台)

内 容	参加者数	開催日
気象や防災に関するさまざまな実験・展示等を開催	887人	11月3日

(5)雪氷を楽しむin旭川(共催：雪氷学会北海道支部)

内 容	参加者数	開催日
雪と氷に関する講演会と雪の万華鏡の工作	44人	12月10日

(6)たのしい電子工作教室(共催：旭川工業高等学校定時制)

内 容	参加者数	開催日
イライラボーを作ろう	17人	1月6日

(7)科学探検広場2012(共催：サイエンスボランティア旭川)

内 容	参加者数	開催日
サイエンスボランティア旭川を中心に地域の学校教諭や学生が科学屋台の出展など約50の催しを開催	13,767人	1月7日～8日

8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	参加者数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(25回実施)	277人	4月～3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	939人	10月22日～23日
日専連版画コンクール	日専連旭川	840人	2月18日～19日
健康日本21	旭川薬剤師会	390人	2月26日

9 情報提供活動

(1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD・CD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他
(備品・資料・家具類などはすべて（社）旭川自動車学園からの寄贈による)

(2) 情報コーナーの運営

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末5台及びプリンター1台、インターネット検索可能、液晶タッチパネルによる画面展開可能

(3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果、最新科学情報・動向、サイエンスFAQなど。

10 広報活動

科学館及び博物館の周知、事業内容のPRと利用の促進を図るため、次の広報活動を実施した。

(1) 旭川市広報誌「あさひばし」への事業案内、利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ等報道機関その他媒体への情報提供、取材依頼。

(3) 科学館及び博物館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布。

(4) 特別展や各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布。

(5) ホームページを通じて、科学館及び博物館の利用案内や事業情報等を発信。

(6) 科学館公式ガイドブック、科学館体験学習の手引きの作成。

(7) 「博物科学館報」、調査研究などの「研究報告」、旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行、配布。

(8) 館内に科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

(9) 科学館及び博物館の1年間の主な行事予定等を掲載した「旭川市科学館・博物館カレンダー」の作成、配布。

IV 平成23年度事業活動報告（旭川市博物館）

1 利用状況

平成23年度	一般	高校生	小中学生	幼児	特別展	合計	平成22年度
4月	948	3	228	41	—	1,220	1,417
5月	1,583	1	868	86	—	2,538	1,726
6月	1,578	425	848	28	—	2,879	1,838
7月	1,951	10	660	116	1,748	4,485	7,204
8月	2,486	26	1,088	209	4,835	8,644	14,519
9月	1,703	36	625	257	1,150	3,771	5,415
10月	2,110	44	1,331	76	—	3,561	2,649
11月	1,628	6	1,568	30	—	3,232	3,048
12月	509	2	382	22	—	915	1,436
1月	858	0	456	25	—	1,339	971
2月	665	40	1,003	17	—	1,725	1,975
3月	1,050	10	226	106	—	1,392	1,143
合計	17,069	603	9,283	1,013	7,733	35,701	43,341

※平成23年度の日平均入館者数：103.8人（開館日数：344日）

最近10年間の旭川市博物館入館者数一覧（平成13年度～平成22年度：延人数）

年 度	一般		高校生		小中学生（幼児）					幼 児	免 除	特別展	合 計	摘 要
	個人	団体	個人	団体	個人	市内小学	市外小学	市内中学	市外中学					
H13	21,424		148	172	4,168	3,393	1,289	54	132	1,351	—	—	32,131	※1
H14	21,748		87	141	4,058	4,721	1,110	51	292	1,517	—	—	33,725	※1
H15	22,352		196	83	4,565	3,595	911	170	268	2,119	—	—	34,259	※1
H16	19,887		174	40	4,261	3,321	728	68	464	1,550	—	—	30,493	※1
H17	20,828		139	99	5,613	3,568	544	89	468	1,479	—	—	32,827	※1
H18	4,781	698	75	100	3,939	3,363	386	60	468	774	4,489	—	19,133	
H19	4,354	890	65	50	3,944	3,487	487	109	737	1,071	5,550	—	20,744	
H20	4,342	163	56	0	1,893	2,256	74	10	0	440	4,698	—	13,932	※2
H21	7,394	1,047	108	102	3,269	4,124	687	190	266	703	7,101	4,601	29,592	
H22	7,387	763	96	100	3,126	4,453	1,209	259	279	764	8,024	16,881	43,341	

※1 無料期間 ※2 H20.11.1～ リニューアルオープン

2 常設展示事業

常設展示室は、1階と地階の2層構造になっています。平成20年11月にリニューアルされた1階展示室では、大陸や日本などと活発な交易をくりひろげ、複雑な社会を生み出してきたアイヌの歴史と多くの民族資料、さらに文化の伝承と創造に取り組む今日の上川アイヌの姿を御紹介します。また地階展示室では、上川盆地の2万年前から現在における人々の歩みを多くの資料によって振り返るとともに、私たちの命を育んできた上川盆地の地質や地形など自然のありさま、さらに私たちの仲間というべき多様な生き物たちを御紹介します。



3 企画展示・特別展示事業

博物館では、常設展示の他に収蔵品を創意工夫によって展示したり、また特定のテーマに基づいて調査研究した成果を発表する企画展示や特別展示を実施しております。

平成23年度は、合計3本の企画展と1本の特別展が開催されました。

第62回企画展「イヌイトの壁掛け～カナダ極北のあったか手仕事」

展示期間	平成23年4月29日(金)～5月29日(日) 30日間
観覧者数	2,705人
展示内容	イヌイトの工芸品である壁掛けや人形等約80点を展示し、厳しい自然環境の下で生活する彼らの生活様式や習俗、動物との関わり方を示した。

特別展「ロボワールド-ROBO WORLD-」 ※科学館と合同で開催

展示期間	平成23年7月16日(土)～9月4日(日) 51日間
観覧者数	7,733人
展示内容	博物館会場では「鉄人28号」など昔懐かしいロボット玩具、木とメカの融合アート「メカ木ズム」、江戸のからくりなども展示し、文化や歴史に触れた。

第63回企画展「日本国の黒曜石と火山研究」

展示期間	平成23年10月2日(日)～11月6日(日) 36日間
観覧者数	5,071人
展示内容	日本火山学会2011年度秋季大会(旭川大会)における共催事業。学会員によるポスターセッションの他、学芸員が採集した国内産黒曜石の展示を行った。

第64回企画展「桶づくりの道具」

展示期間	平成23年12月23日(金)～平成24年2月12日(日) 43日間
観覧者数	2,221人
展示内容	過去に桶や樽の製造に携わっていた職人から寄贈を受けた桶・樽づくりの道具を用途や道具に沿って分類し展示した。

4 教育普及活動事業

常設展示を補完し、地域の自然・歴史等を理解するための博物館体験学習、自然観察会などの各種講座、講義・講演会を開催してきました。またリニューアル事業に伴い昭和30年代当時の道具や遊びを通して、暮らしを学ぶことができる「ゆきんぼコーナー」を設置しました。その他、来館者の学習相談、レファレンスサービス、資料の特別利用に応じてきました。

講義・講演会	(18回開催) 合計 703人参加
---------------	-------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
講演会「野鳥教室」	どなたでも	82人	4月9日
学芸員リレー講座「博物館マネジメント」	〃	4人	5月4日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」1回目	中学生以上	11人	4月23日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」2回目	〃	14人	6月25日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」3回目	〃	10人	8月27日
ミュージアムカレッジ「旭川野外塾」4回目	〃	10人	10月22日
講演会「上川アイヌの歴史」	大人	23人	11月3日
ミュージアムカレッジ「旭川文化史塾」1回目	どなたでも	11人	11月13日
ミュージアムカレッジ「旭川文化史塾」2回目	〃	11人	12月11日
ミュージアムカレッジ「旭川文化史塾」3回目	〃	12人	1月15日
ミュージアムカレッジ「旭川文化史塾」4回目	〃	10人	2月12日
ミュージアムカレッジ「旭川文化史塾」5回目	〃	6人	3月11日
博物館連続講座「歴史・この街・旭川」①	大人	42人	6月12日
博物館連続講座「歴史・この街・旭川」②	〃	37人	6月26日
博物館八月講座「資料にたどる軍都の面影」	〃	17人	8月14日
火山防災シンポジウム	〃	91人	10月1日
講演会「歴史ロマン—函館ミュージアム街道をあるく」	どなたでも	中止	2月26日
講演会「～心を緑にする植物のお話～」	〃	312人	3月4日

企画展特別展関連企画	(22回開催) 合計 864人参加
-------------------	-------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
イヌイトヨーヨーづくり	どなたでも	13人	4月29日
企画展特別解説	〃	7人	4月29日
ロボット展ぬりえ	〃	35人	6月11, 12, 18, 19, 25, 26, 7月2日
紙を使った重力で動く「トコトコ二足歩行」の模型作り	〃	20人	7月24日
わくわくロボット体験!	〃	306人	7/30-31
からくり模型作り	小・中学生	10人	8月6日
からくり人形実演	どなたでも	54人	8月13日
ストローを使った「ロボットアーム」作り	〃	16人	8月13日
ダンボールを使った「コロコロくるま」作り	〃	14人	8月14日
からくり人形工作	〃	39人	8月7日, 27日
紙を使った重力で動く「トコトコ二足歩行」の模型作り	〃	23人	9月3日
ダンボールを使った「コロコロくるま」作り	〃	14人	9月4日
公開講座「火山学者と火山を作ろう！」	小・中学生	93人	10月1日
特別セッション「火山のジオパーク, 火山防災と教育」	大人	220人	10月2日

特別企画	(4回開催) 合計 65人参加
-------------	-----------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
大人のための朗読会～旭川・作家と作品（1回目）	どなたでも	14人	2月25日
大人のための朗読会～旭川・作家と作品（2回目）	〃	10人	3月3日
大人のための朗読会～旭川・作家と作品（3回目）	〃	20人	3月10日
大人のための朗読会～旭川・作家と作品（4回目）	〃	21人	3月17日

自然観察会	(博物館主催分 6回開催) 合計 92人参加
--------------	------------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
博物館体験学習「探鳥会」	どなたでも	10人	5月8日
大人のための自然観察会「江丹別の自然観察」	大人	20人	6月5日
博物館体験学習「化石採集会」	どなたでも	21人	6月20日
博物館体験学習「富良野活断層見学会」	中学生以上	21人	7月3日
大人のための自然観察会「浮島湿原の自然観察」	大人	20人	7月18日
市民火山見学会	〃	中止	9月3日

博物館教室「もっと教えて！博物館」	(17回開催) 合計 2,539人参加
--------------------------	---------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
■春休み博物館体験		70人	4月1日～4月3日
まが玉作り	どなたでも	24人	4月1日
レインスティックづくり	〃	15人	4月2日
昔のおやつ作り	〃	31人	4月3日
■GWは博物館へ行こう		296人	4月29日～5月5日
ビー玉迷路	どなたでも	4人	4月29日
うなり木づくり	〃	11人	4月30日
豆腐づくり体験	親子	21人	4月30日
手持ちこいのぼりを作ろう	どなたでも	19人	5月1日
レプリカ色塗り工房	〃	46人	5月1日
百人一首体験	〃	11人	5月3日
お手軽！化石のレプリカ工房	〃	33人	5月3日、4日
アイヌ文様コースター	〃	26人	5月4日
こどもの日は博物館へ行こう	〃	125人	5月5日
■新緑の博物館		22人	5月28日、29日
ガラス絵の具でアイヌ文様を描こう	どなたでも	1人	5月28日
かざぐるま作験	〃	6人	5月28日
ブーメラン体験	〃	3人	5月29日
缶ぽっくりで遊ぼう	〃	12人	5月29日
■初夏の博物館		28人	6月18日、19日
ブーメラン体験	どなたでも	9人	6月18日
凧で遊ぼう	〃	3人	6月18日
うなり木づくり	〃	4人	6月19日
父の日カード	〃	12人	6月19日

■プレ！夏休み 博物館de体験学習		119人	7月16日～18日
アイス作り	どなたでも	26人	7月16日
凧で遊ぼう	〃	22人	7月17日
ガリ版体験	〃	22人	7月17日
風鈴作り	〃	34人	7月18日
レインスティックづくり	〃	15人	7月18日
■本格派！化石のレプリカ作り	小・中学生	23人	7月28日
■夏休み 博物館体験学習		646人	8月4日～16日
本格派！化石のレプリカ作り	小・中学生	19人	8月4日
教員のための博物館の日	教育関係者	144人	8月5日
アイヌ文様コースター	どなたでも	47人	8月5日
昔のおやつ作り	小・中学生	17人	8月6日
まが玉作り	小学生以上	43人	8月6日
有孔虫の化石を取り出そう！	小・中学生	19人	8月7日
ビニールたこ作り	どなたでも	18人	8月7日
アイヌ語カルタで遊ぼう	〃	10人	8月8日
ペットボトルで風鈴作り	〃	21人	8月8日
縄文ストラップ作り	〃	16人	8月9日
マイうちわ作り	〃	11人	8月9日
ダイヤコースター作り	〃	36人	8月10日
化石のレプリカ作り	小3以上	23人	8月10日
計算尺入門	小5以上	4人	8月11日
アイヌ織物体験	小3以上	8人	8月11日
地図を使ってタイムスリップ	どなたでも	7人	8月12日
アイス作り	〃	15人	8月12日
すぐにできるレプリカ作り	〃	12人	8月12日
子供向けまが玉作り	小3以上	20人	8月13日
大人向けまが玉作り	大人	4人	8月13日
かざぐるま作り	どなたでも	20人	8月14日
計算尺入門	小5以上	4人	8月14日
化石のレプリカ作り	どなたでも	4人	8月14日
アイヌ文様コースター作り	〃	23人	8月15日
お手軽ランプ手品	〃	10人	8月15日
すぐにできるレプリカ作り	〃	23人	8月15日
石うす体験	〃	17人	8月16日
夏の終わりに百人一首	〃	14人	8月16日
屯田兵屋での暗闇体験	〃	11人	8月16日
からくりのぼり猿づくり	〃	26人	8月16日
■もっと教えて！博物館		126人	9月17日～25日
砂絵で遊ぼう	どなたでも	7人	9月17日
アイス作り体験	〃	10人	9月17日
缶ぽっくりで遊ぼう	〃	4人	9月18日
せんべい焼き体験	〃	18人	9月18日
石うす体験	〃	2人	9月19日
アイヌ文化ふれあいまつり（於アッシュュ開催）	〃	約1,000人	9月19日
アイヌ文様しおり作り	〃	6人	9月23日

すぐにできる化石のレプリカづくり	〃	35人	9月23日
シャボン玉で遊ぼう	〃	26人	9月24日
回り灯籠を作ろう	〃	9人	9月24日
凧で遊ぼう	〃	9人	9月25日
■体育の日！博物館		199人	10月8日～10日
竹馬で遊ぼう	どなたでも	15人	10月8日
アイヌ文様コースター	〃	39人	10月9日
ボン菓子作り	〃	120人	10月9日
すぐにできる化石のレプリカづくり	〃	14人	10月10日
アイヌ織物体験	〃	11人	10月10日
■ハロウィーン企画		34人	10月29日、30日
落ち葉を使って仮装をしよう	どなたでも	7人	10月29日
キーワードを探し、クイズを解いてみよう	〃	27人	10月30日
■アイヌ文化に親しむ日		154人	11月3日
アイヌ文様を染める	どなたでも	6人	11月3日
ラタシケプ作り	〃	13人	11月3日
タマサイを作ろう	〃	10人	11月3日
アイヌの草かご作り	〃	11人	11月3日
講演「上川アイヌの歴史」	大人	別掲	11月3日
ミュージアムコンサート	どなたでも	60人	11月3日
アイヌのユーカラを楽しむ	〃	32人	11月3日
大人のための朗読会	大人	22人	11月3日
アイヌ語カルタ、アイヌゴザ編み体験、アイヌ文様コースター・しおり	どなたでも	多数	11月3日
■もっと教えて博物館		51人	11月19日～23日
わりばしてっぼうを作ろう	どなたでも	8人	11月19日
でんでん太鼓を作ろう	〃	15人	11月20日
宝石みがき	小3以上	16人	11月23日
おりがみで遊ぼう	どなたでも	12人	11月23日
■クリスマス博物館		109人	12月23日～25日
もちつきべったんこ	小学生以上	41人	12月23日
クリスマスカードづくり	どなたでも	12人	12月23日
うなり木	〃	5人	12月24日
クリスマスキャンドル作り	〃	18人	12月24日
お正月の飾り工作	〃	15人	12月25日
切手アート来年の干支「龍」	〃	18人	12月25日
■冬休み博物館体験		456人	1月7日～15日
本格派！化石のレプリカ作り	小・中学生	30人	1月7日
アイヌコースター	どなたでも	34人	1月7日
たこあげ体験	〃	63人	1月8日
有孔虫の化石を取り出そう！	小・中学生	13人	1月8日
むかしの室内遊び体験	どなたでも	125人	1月9日
縄文ストラップ作り	〃	16人	1月11日
レインスティック作り	小3以上	17人	1月11日
親子石器作り・アクセサリ作り体験in白滝	親子	43人	1月11日
まが玉作り	小3以上	37人	1月12日

イタドリを使った笛づくり	どなたでも	15人	1月13日
わらぐつを履いて雪だるまを作ろう	小3以上	3人	1月13日
うなり木作り	どなたでも	9人	1月14日
親子豆腐作り体験	小学生と保護者	23人	1月14日
アイヌ文様を染める	どなたでも	13人	1月15日
アイヌコザを編む	〃	15人	1月15日
■冬もあついぞ！博物館		59人	2月8日～12日
アイヌゴザ編み体験	どなたでも	6人	2月8日、9日
アイヌ文様コースター作り	〃	4人	2月10日
ミサンガ作り	〃	9人	2月11日
お手軽！化石のレプリカ作り	〃	17人	2月11日
チョコレート作り	〃	18人	2月12日
旭川についてのクイズ	小・中学生	5人	2月12日
■春の博物館まつり		65人	3月17日～20日
ミニ土器づくり	どなたでも	8人	3月17日
アイヌのゴザ編み体験	小3以上	6人	3月17日
アイヌ文様コースター	小学生以上	6人	3月18日
親子えびせんべい焼き体験	小3以上と保護者	25人	3月18日
アイヌ語カルタであそぼう	〃	2人	3月20日
宝石みがき	小3以上	18人	3月20日
■春休み博物館体験		82人	3月24日～31日
たこあげ体験	どなたでも	10人	3月24日
牛乳パックブーメラン作り	小学生以上	18人	3月24日
博物館写生会	〃	10人	3月25日
アイヌ文様しおり	どなたでも	1人	3月27日
ミニミュージアム(2日連続企画)	小3以上	24人	3月28日～29日
かざぐるま作り	小学生以上	3人	3月30日
ぶんぶんゴマ	どなたでも	5人	3月31日
うなり木作り	〃	11人	3月31日

ゆきんぼ企画「あさひかわ・ナツカシフシギ」	(116回開催) 合計 6,065人参加
------------------------------	----------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
ゆきんぼ企画「あさひかわ・ナツカシフシギ」	どなたでも	6,065人	毎週土日祝

旭川市博物館教育活動	(2回開催) 合計 151人参加
-------------------	------------------

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
教員のための博物館の日	教 員	144人	8月5日
小中学校教員を対象とした旭川市博物館ワークショップ型見学会	〃	7人	2月25日

5 刊行物一覧

旭川市博物館では、調査研究・教育普及活動の一環として、「研究報告」、講座で使用する様々な資料の刊行にも力を入れております。是非、御覧下さい。

名 称	形態	頁数	部数
旭川市博物科学館研究報告 第4号(市立旭川郷土博物館研究報告継続 通巻38号, 旭川市博物館研究報告継続 通巻18号, 旭川市科学館研究報告継続 通巻7号) ○ロシア連邦プリモリエ地方から産出するMafic Obsidianについて 向井正幸 P.1~8 ○旭川市旭山公園とその周辺の植物 成田一芳・塩田 惇 P.9~25 ○科学館の標本を活用した授業―「砂から環境を読む」 河村 勁・熊谷拓也・添田隆子・横堀初美 P.27~34 ○石狩川上流におけるサケ <i>Oncorhynchus keta</i> の自然産卵 有賀 誠・山田直佳・中田悌二・伊藤洋満・宮下和士 P.35~46	A 4 版	46頁	400
旭川市博物館所蔵品目録 XX I 民族資料/外来品関係: 椀類2	A 4 版	32頁	400
キッズかわら版 第11号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000
キッズかわら版 第12号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000
大人のための自然観察会「江丹別の自然観察」	A 4 版	20頁	
大人のための自然観察会「浮島湿原の自然観察」	A 6 版	32頁	
博物館体験学習「化石採集会」	A 4 版	6 頁	
博物館体験学習「本格派!化石のレプリカづくり」	A 4 版	5 頁	
博物館体験学習「有孔虫の化石を取り出そう!」	A 4 版	7 頁	
博物館八月講座「資料にたどる軍都の面影」	A 3 版	5 頁	

6 博物館実習

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しました。

(1) 実習期間

平成23年8月18日(木)から8月24日(水)まで(7日間)

(2) 実習生(学校別人数)

合計 16人

北海道教育大学旭川校	11人	沖縄県立芸術大学	1人
北海道大学	1人	琉球大学	1人
静岡大学	1人	昭和音楽大学	1人

7 収蔵資料関係

平成23年度では、多くの市民の方々から1,305点の貴重な資料が新たに収蔵資料として登録されました。

平成23年度	民族資料	考古学資料	生活資料	自然科学資料	文書資料	計
4月	0	0	381	0	0	381
5月	0	0	21	0	0	21
6月	0	0	634	0	0	634
7月	0	0	2	0	0	2
8月	0	0	4	0	0	4
9月	0	0	6	0	0	6
10月	0	0	4	0	0	4
11月	1	0	41	0	0	42
12月	0	0	6	0	0	6
1月	0	0	71	0	0	71
2月	0	0	1	0	0	1
3月	0	0	1	132	0	133
合計	1	0	1,172	132	0	1,305
前年度末	2,595	18,912	47,848	7,527	6,368	83,250
累計	2,596	18,912	49,020	7,659	6,368	84,555

8 資料調査・撮影・掲載等

収蔵資料は、研究者の調査や論文掲載のために写真撮影をされたり、各報道機関で映像紹介されるなど有効に活用されております。(敬称略)

資料調査・撮影・掲載者	貸出資料	点数	掲載等
NHK旭川放送局	S Pレコード	4点	ウェブサイトへの掲載のため
国立民族学博物館	樺太アイヌ子供用毛皮衣	1点	学習キット「みんぱく」等に使用のため
株式会社 スプリング	旭川駅写真パネルほか	2点	番組制作のため
旭川龍谷高等学校 郷土部	北海道アイヌまつり関係資料	14点	郷土史に係る調査研究のため
株式会社 小学館	朱彩耳付甕	1点	電子辞書掲載のため
北海道大学アイヌ・先住民研究センター	縄文土器片	10点	分析用資料として(データ収集)
北海道新聞社出版センター	後北式土器	2点	書籍掲載のため
山田氏	旅行鞆	1点	郷土史に係る調査研究のため
株式会社 吉川弘文館	長都1遺跡方頭太刀ほか	4点	書籍掲載のため
NHK旭川放送局	永山屯田兵屋	1点	番組制作のため
吉原氏	塗椀	10点	調査研究のため
NHK旭川放送局	北海道開発大博覧会誌	1点	ウェブサイトへの掲載のため
(株)北日本広告社	伝承のコタンほか	2点	DVD制作のため
竹田氏	旭川市景勝観光鳥瞰図	1点	調査研究のため
株式会社 トップシーン	擦文土器	1点	展示室撮影のため

読売新聞旭川支局	旭川駅写真	1点	新聞記事掲載のため
日本文教出版株式会社	アイヌ衣装	1点	社会科教科書教師用指導書に掲載のため
鈴木氏	アイヌ衣装	1点	キルト作品のデザイン参考のため
NHK旭川放送局	S Pレコード	4点	ウェブサイトへの掲載のため

9 貸出資料

博物館では、収蔵資料を貸出しております。貸出された資料は、全国の博物館園での展示や学術上の研究等に使用されるほか、各小中学校の授業で使用されるなど、有効に活用されております。
(敬称略)

貸出先	貸出資料	点数	貸出期間
旭川市消防本部	ポンプほか	2点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
社会教育部 文化振興課	小熊秀雄の机	1点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
北海道旅客鉄道株式会社	S L部品ほか	40点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
旭川市民生活館	イクバスイほか	20点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
旭川市立北鎮小学校	スキーほか	3点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
北鎮記念館	伝ステッセルのピアノほか	8点	平成23年4月1日～平成24年3月31日
旭川市立知新小学校	縄文キット一式	1点	平成23年4月15日～平成23年4月15日
新ひだか町静内郷土館	刀吊帯ほか	6点	平成23年7月13日～平成23年10月15日
社会教育部 文化振興課	緑町4遺跡出土遺物	60点	平成23年9月5日～平成23年9月5日
斜里町立 知床博物館	チャシコツ下堅穴土器ほか	26点	平成23年9月22日～平成24年1月12日
旭川市立北鎮小学校	手回し洗濯機ほか	4点	平成23年10月17日～平成23年11月4日
網走市立郷土博物館	耳飾ほか	2点	平成23年11月8日～平成23年12月30日
社会教育部 文化振興課	錦町5遺跡出土遺物ほか	10点	平成23年11月29日～平成23年11月29日
旭川市立中央図書館	写真パネル	2点	平成23年12月21日～平成24年1月20日
旭川グランドホテル	蓄音機ほか	10点	平成23年12月29日～平成24年1月4日
旭川市立末広小学校	炭火アイロンほか	6点	平成24年1月17日～平成24年2月3日
旭川市立日章小学校	炭火アイロンほか	3点	平成24年1月22日～平成24年1月31日
旭川市立近文第1小学校	角巻ほか	5点	平成24年1月27日～平成24年2月3日

10 博物館ボランティア

昭和62年に北海道退職校長会旭川支部会員の希望者が集まった博物館ボランティアの活動が、現在も継続して行われています。活動内容は、週1回来館して約2時間、担当学芸員の指示で収蔵資料の整理、収蔵カードの整備、データ入力その他、写真・文献等の資料整理を行っています。

V サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館及び旭川市博物館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成24年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 142名（平成24年3月31日現在）
〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員142名（うち特別学芸員79名）

〈お問い合わせ先〉 〒078-8329 旭川市宮前通東
旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局
TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310
E-mail: hakubutsukagaku@city.asahikawa.hokkaido.jp
URL: <http://asascience.blog.fc2.com/>

2 平成23年度従事者数

月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計	月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計
4	182.0人	62.0人	244.0人	10	176.5人	53.5人	230.0人
5	207.5人	91.5人	299.0人	11	176.5人	64.0人	240.5人
6	196.5人	65.5人	262.0人	12	179.0人	65.5人	244.5人
7	258.0人	70.0人	328.0人	1	159.5人	60.0人	219.5人
8	300.5人	85.5人	386.0人	2	164.0人	52.5人	216.5人
9	214.5人	68.5人	283.0人	3	180.5人	51.0人	231.5人
				計	2,395.0人	789.5人	3,184.5人

※半日従事の場合は0.5人として積算

3 活動の内容

(1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	発券機操作案内，常設展示機器運営サポート・展示案内・説明，プラネタリウム観客誘導・整理等，レファレンスルーム管理，「サイエンスボランティア旭川通信」発行など
自主事業の企画・実施	「科学探検広場2012」の実施，サイエンスワークショップ・スポット木工・サイパル工房・コーナーサイエンス開催など ※科学探検広場2012はⅢ「平成23年度事業活動報告」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品約150種程度

(2) 自主事業詳細

ア サイエンスワークショップ

簡単な科学実験や工作などのワークショップを小学生を対象に主に日曜日、館内のさまざまなスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
替わり絵遊び，糸でんわ，かんたん!万華鏡，牛乳パックのくるま，万華鏡を作ろうなど	5,170人	主に毎日曜日(合計66回)

イ サイパル工房

様々な世代の人々にもものづくりの楽しさを伝えるため、電子工作を中心に不定期に開催しています。

内 容	参加者数	開催日
電子オルゴールの製作，ロボットを作ろうなど	80人	4月5日, 5月3日～5日, 29日, 6月5日, 26日, 30日, 7月24日～25日, 27日, 29日, 9月3日

ウ 夏休み自由研究サポート工作教室

内 容	対象	参加者数	開催日
くるくるコップ，なかよしスイッチ，ミニ盆とコースター，木のペン立て，木琴と一弦琴，モビール，ポンポン船，砂絵，リサ・うちわ	小学3年生以上	104人	7月24日, 27日, 29日, 8月10日, 11日

エ 冬休み自由研究サポート工作教室

内 容	対象	参加者数	開催日
エンドレスパラパラほか4テーマ	小学3年生以上	72人	1月9日

オ スポット電子，スポット木工，コーナーサイエンス

事業名	内 容	参加者数	開催日
スポット木工	糸のこを使った動物などの簡単な切り抜き工作	898人	4月～3月 (22回実施)
コーナーサイエンス	「サイパル博士」が科学グッズ等を演示し，科学原理・法則を解説。重力の科学など	546人	4月～3月 (4回実施)



科学探検広場2012①



科学探検広場2012②

VI 旭川市科学館・旭川市博物館利用案内

1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

博物館 常設展示 (1日)	科学館		観覧料 (円)			
	常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
	●	●	500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は，観覧料が免除となります。(受付にお申し出ください。)

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方(科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も)
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者(介助対象者と同人数まで)
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者(介助対象者と同人数まで)
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から1年間，対象施設を何度も御覧いただけます。

種類	対象施設	料金 (円/枚)	
		大人	高校生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,800	/

※上記パスポートは科学館の受付(動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも)又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

2 旭川市科学館

(1)開館日数

平成23年度の開館日は321日、休館日は45日（うち、保守点検休館日は7日間）。

(2)休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、その翌日）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

上記を除く毎月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる）

(3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日及び月末の平日（7月8日及び9月27日を除く）並びに4月30日、5月27日、12月27日、1月2日、3月28日及び31日。

(4)開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成23年度は8月12日～16日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

(5)交通のご案内

バスをご利用の場合

JR旭川駅前「5番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」乗車、「科学館前」で下車します。

JRをご利用の場合

JR旭川駅から徒歩25分又は、JR旭川四条駅から徒歩15分かかります。

高速道路をご利用の場合

道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分又は、道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

飛行機をご利用の場合

旭川空港より車で約40分かかります。

(6)周辺地図



3 旭川市博物館

(1)開館日数

平成23年度の開館日は344日、休館日は22日。

(2)休館日

毎月第2・第4月曜日（祝日に当たる時は火曜日）、設備点検日等、年末年始（12月30日から1月4日まで）。

(3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日は開館。

(4)開館時間

開館 午前9時

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は、午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成23年度は8月12日～16日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

(5)交通のご案内

バスをご利用の場合

1条通7丁目12番バスのりばから旭川電気軌道バス「80・81番」乗車，同11番のりばから道北バス「43・45番」乗車，「神楽4条7丁目」（大雪アリーナ前）下車。所要時間は約10分です。詳しくはホームページをご覧ください。

乗用車をご利用の場合

J R旭川駅東口から氷点橋経由で1.2km，約10分かかります。隣接する旭川大雪アリーナ裏側に約400台収容可能な駐車場があります。大型バスも10台以上駐車することができます。

高速道路をご利用の場合

道央自動車道旭川鷹栖I.C.から車で約25分かかります。

J Rをご利用の場合

J R旭川駅東口から徒歩の場合，氷点橋経由で約1.2kmで約20分かかります。タクシーの場合，約800円前後，所要時間は約10分です。

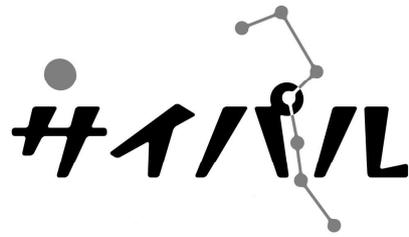
飛行機をご利用の場合

旭川空港から車で約40分かかります。

(6)周辺地図

旭川市博物館は，複合施設である旭川市大雪クリスタルホールの中にあります。





旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。
新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしてい
ます。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込め
られています。



旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

未来への進化をたどる、地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、
宇宙的な生物アメーバを表現。

その中に、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、またアイヌの人たちには
「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

平成24(2012)年

旭川市博物科学館報 Vol.5

平成24年12月発行

発行者 旭川市博物科学館
旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目(大雪クリスタルホール内)
TEL 0166-69-2004 FAX 69-2001
旭川市科学館 〒078-8329 旭川市宮前通東(北彩都あさひかわシビックコア地区)
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/hakubutsukagaku/>
メールアドレス hakubutsukagaku@city.asahikawa.hokkaido.jp
